

横浜

海の生き物や科学に親しんでもらうイベント「海洋都市横浜つみ博2019」が20日、横浜市中区の大さん橋ホールで開幕した。海洋生物との触れ合い、最新の海洋技術の展示など多彩な企画を開催。小学生ら多くの親子連れが訪れている。21日まで。

市や関連企業、大学・研究機関などによる海洋都市横浜つみ協議会の主催。メイン会場には、大学や企業、行政などの21ブースのほか、ステージやワークショップコーナーなども開設。ネコザメなど海洋生物の展示から、実験船や海洋汚染の解説、水質検査体験、海中旅行の紹介、海の絵を描くアートスペース、幼児が楽しめる釣りゲームまで、硬軟織り交ぜた企画が行われている。

同市戸塚区の小学5年生岡本照英さん(10)は海上技術安全研究所のブースで実験船の解説に聞き入

多彩な企画で「うみ博」 きょうまで

最新技術、生物触れ合い…

った。「水素で動く船があるとは思わなかった。乗ってみたい」と話し、「海の生き物に興味があるので、次は海洋生物のブースに行く」とさまざまな展示に目を輝かせた。

神奈川大のブースでは、ミネラルウォーターなどの水質検査が体



①横浜・八景島シーパラダイスのブースでネコザメに触れ合う子どもたち②海上技術安全研究所のブースで実験船の解説に聞き入る小学生

場無料。(熊谷 和夫)